

平成24年 千葉県鉱工業指数年報の概況 (平成22年基準)

短期経済観測の資料とするため、毎月「千葉県鉱工業指数月報」を発行し、鉱工業の生産・出荷・在庫・在庫率指数を公表しております。この度、基準年次及び季節指数の改定を行った上で、平成24年の1年間の動向を年報として公表しましたので紹介します。

統計課 工業班
電話 043-223-2227

概況

— 生産・出荷・在庫・在庫率ともに低下 —

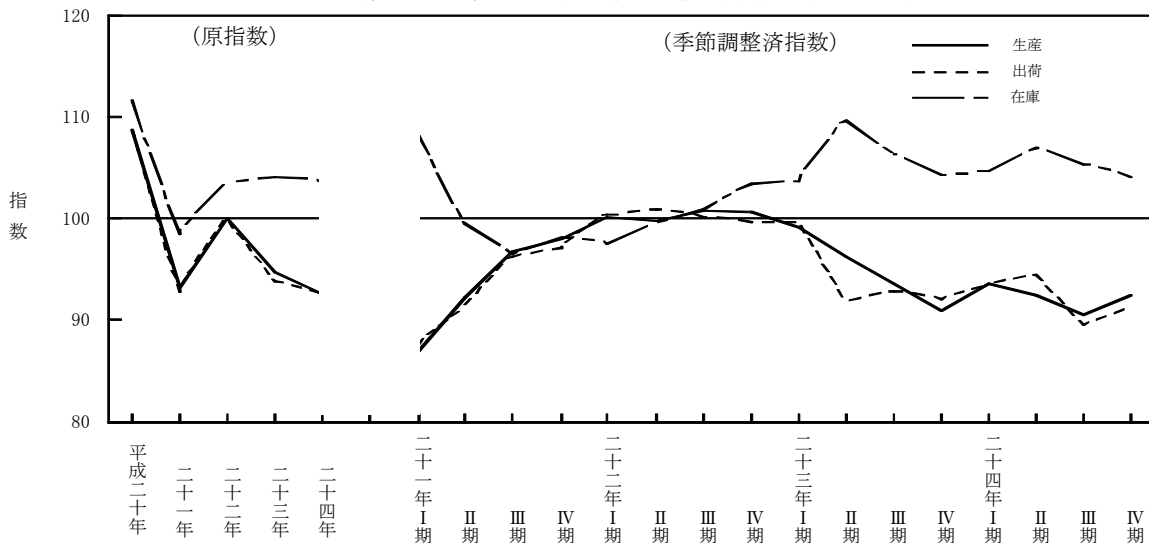
平成24年の千葉県鉱工業指数をみると、生産指数は92.6で前年比△2.2%と2年連続の低下、出荷指数は92.5で同△1.4%と2年連続の低下、在庫指数は103.6で同△0.5%と3年ぶりの低下、在庫率指数は118.0で同△0.6%と2年ぶりの低下となりました。

平成24年を四半期別にみると、生産指数は、Ⅰ期が上昇、Ⅱ期・Ⅲ期が低下、Ⅳ期が上昇となりました。出荷指数は、Ⅰ期・Ⅱ期が上昇、Ⅲ期が低下、Ⅳ期が上昇となりました。在庫指数は、Ⅰ期・Ⅱ期が上昇、Ⅲ期・Ⅳ期が低下となりました。在庫率指数は、Ⅰ期・Ⅱ期が低下、Ⅲ期・Ⅳ期が上昇となりました。

平成24年の生産と在庫の関係を在庫局面でみると、Ⅰ期からⅢ期は「在庫調整局面」に位置し、Ⅳ期は「在庫積み増し局面」に位置しました。

(第1図・第2図・第1表参照)

第1図 千葉県鉱工業指数の推移 (平成22年=100.0)

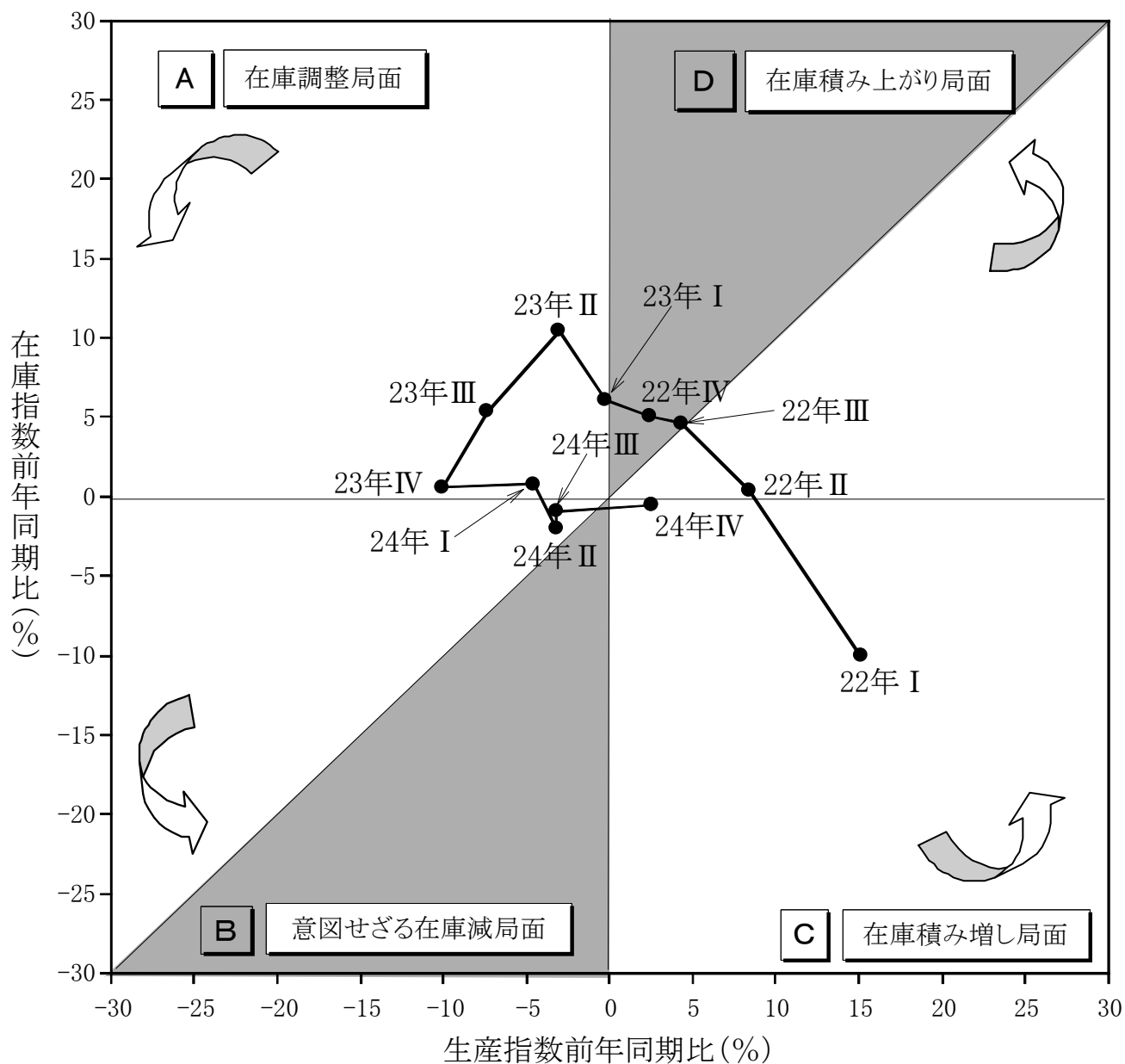


第1表 千葉県鉱工業指数及び前年比・前期比増減率

年・期 指数	20年	21年	22年	23年	24年	24年			
						Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期
						(1~3月)	(4~6月)	(7~9月)	(10~12月)
生産指数	108.8	93.2	100.0	94.7	92.6	93.6	92.5	90.6	92.4
前年比・前期比(%)	△ 3.3	△ 14.3	7.3	△ 5.3	△ 2.2	3.0	△ 1.2	△ 2.1	2.0
出荷指数	108.7	92.8	100.0	93.8	92.5	93.5	94.4	89.6	91.2
前年比・前期比(%)	△ 2.5	△ 14.6	7.8	△ 6.2	△ 1.4	1.5	1.0	△ 5.1	1.8
在庫指数	111.6	98.5	103.5	104.1	103.6	104.7	106.9	105.3	104.1
前年比・前期比(%)	10.7	△ 11.7	5.1	0.6	△ 0.5	0.4	2.1	△ 1.5	△ 1.1
在庫率指数	104.1	121.1	100.0	118.7	118.0	123.0	109.5	119.5	120.0
前年比・前期比(%)	△ 14.7	16.3	△ 17.4	18.7	△ 0.6	△ 0.8	△ 11.0	9.1	0.4

※暦年指数値は原指数、四半期指数値は季節調整済指数

第2図 生産・在庫の関係と在庫局面(在庫循環図)



各在庫局面の説明

- A** 「在庫調整局面」 ……………在庫過剰のため、生産を抑えて在庫を調整する。(景気後退期)
- B** 「意図せざる在庫減局面」 ……需要が回復し始めるが、生産は停滞しており、在庫が減少する。(景気拡大初期)
- C** 「在庫積み増し局面」 ……………需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対応する。
(景気拡大期)
- D** 「在庫積み上がり局面」 ……………供給が需要より多くなると、在庫過剰になり在庫の積み上がりが起きる。
(景気後退初期)

(1) 生産の動向

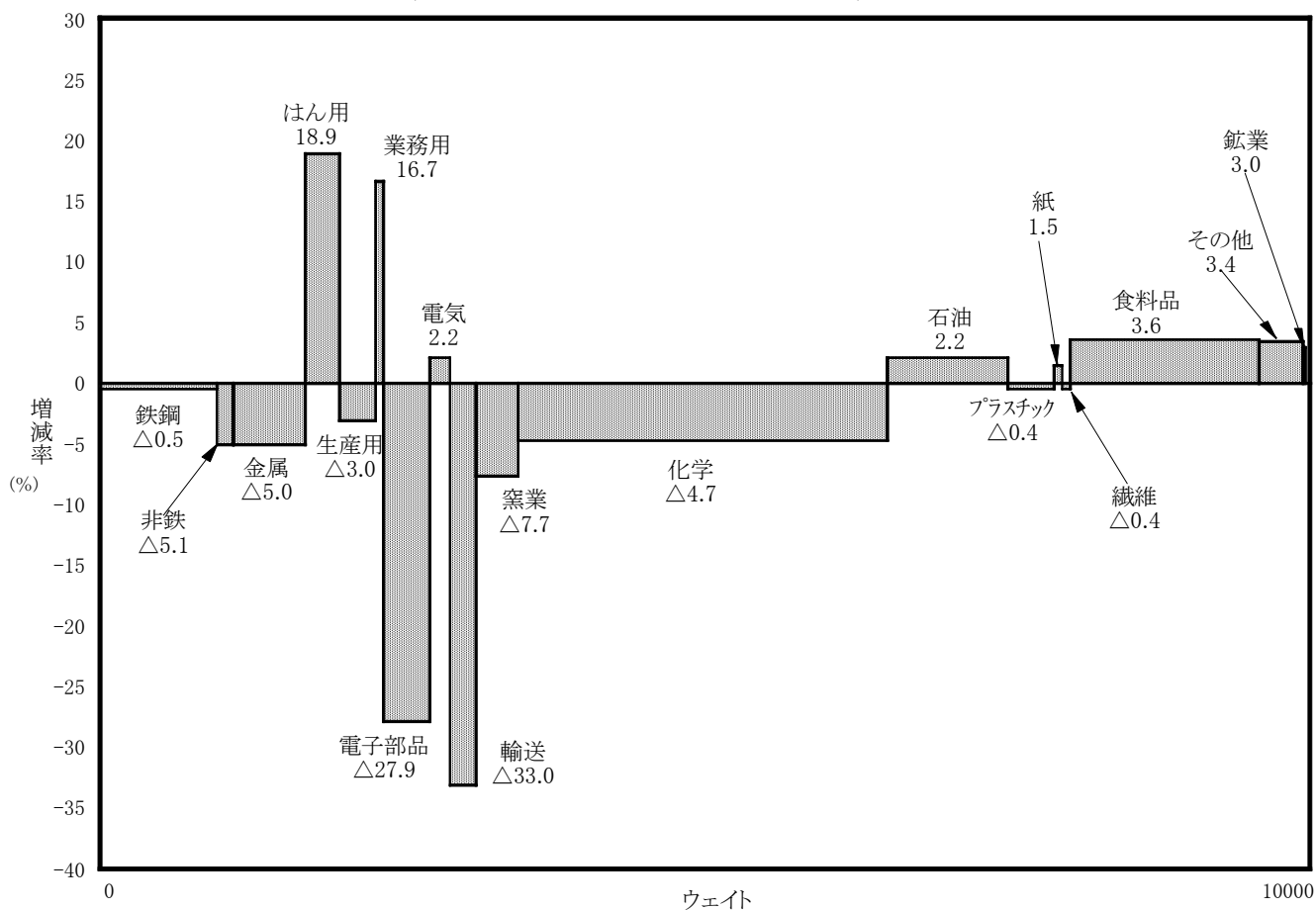
— 8業種が上昇, 10業種が低下 —


平成24年の生産指数は92.6で前年比 $\Delta 2.2\%$ と2年連続の低下となりました。

業種別にみると、はん用機械工業（前年比18.9%）、業務用機械工業（同16.7%）、食料品工業（同3.6%）等8業種が上昇し、輸送機械工業（同 $\Delta 33.0\%$ ）、電子部品・デバイス工業（同 $\Delta 27.9\%$ ）、窯業・土石製品工業（同 $\Delta 7.7\%$ ）等10業種が低下しました。

（第3図参照）

第3図 業種別生産指数の前年比増減率



1. 横軸は業種別ウェイトの構成比、縦軸は各業種の生産指数の前年比増減率を表している。
2. グラフ中の数値は、各業種の前年比増減率である。
3. グラフ中の面積（部分）は、各業種の大きさが指数全体の増減率に与える影響を表している。
4. グラフ中の業種名は、次のとおり略している。

[鉄鋼]…鉄鋼業 [非鉄]…非鉄金属工業 [金属]…金属製品工業 [はん用]…はん用機械工業
 [生産用]…生産用機械工業 [業務用]…業務用機械工業 [電子部品]…電子部品・デバイス工業
 [電気]…電気・情報通信機械工業 [輸送]…輸送機械工業 [窯業]…窯業・土石製品工業
 [化学]…化学工業 [石油]…石油・石炭製品工業 [プラスチック]…プラスチック製品工業
 [紙]…紙・紙加工品工業 [繊維]…繊維工業 [食料品]…食料品工業 [その他]…その他工業

(2) 出荷の動向

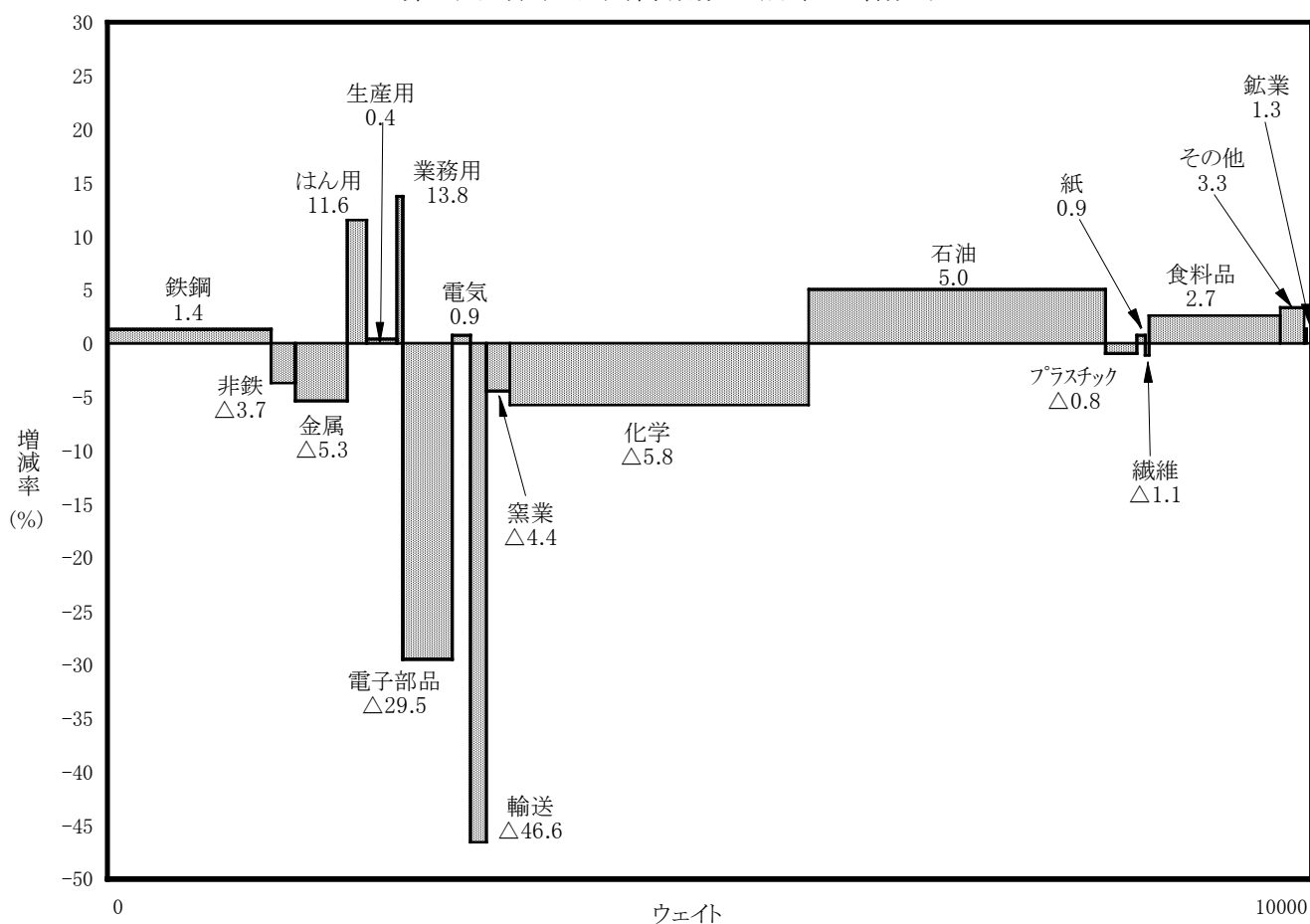
— 10業種が上昇, 8業種が低下 —


平成24年の出荷指数は92.5で前年比△1.4%と2年連続の低下となりました。

業種別にみると、業務用機械工業（前年比13.8%）、はん用機械工業（同11.6%）、石油・石炭製品工業（同5.0%）等10業種が上昇し、輸送機械工業（同△46.6%）、電子部品・デバイス工業（同△29.5%）、化学工業（同△5.8%）等8業種が低下しました。

（第4図参照）

第4図 業種別出荷指数の前年比増減率



1. 横軸は業種別ウェイトの構成比，縦軸は各業種の出荷指数の前年比増減率を表している。
2. グラフ中の数値は，各業種の前年比増減率である。
3. グラフ中の面積（部分）は，各業種の大小が指数全体の増減率に与える影響を表している。
4. グラフ中の業種名は，次のとおり略している。

〔鉄鋼〕…鉄鋼業 〔非鉄〕…非鉄金属工業 〔金属〕…金属製品工業 〔はん用〕…はん用機械工業
 〔生産用〕…生産用機械工業 〔業務用〕…業務用機械工業 〔電子部品〕…電子部品・デバイス工業
 〔電気〕…電気・情報通信機械工業 〔輸送〕…輸送機械工業 〔窯業〕…窯業・土石製品工業
 〔化学〕…化学工業 〔石油〕…石油・石炭製品工業 〔プラスチック〕…プラスチック製品工業
 〔紙〕…紙・紙加工品工業 〔繊維〕…繊維工業 〔食料品〕…食料品工業 〔その他〕…その他工業

(3) 在庫の動向

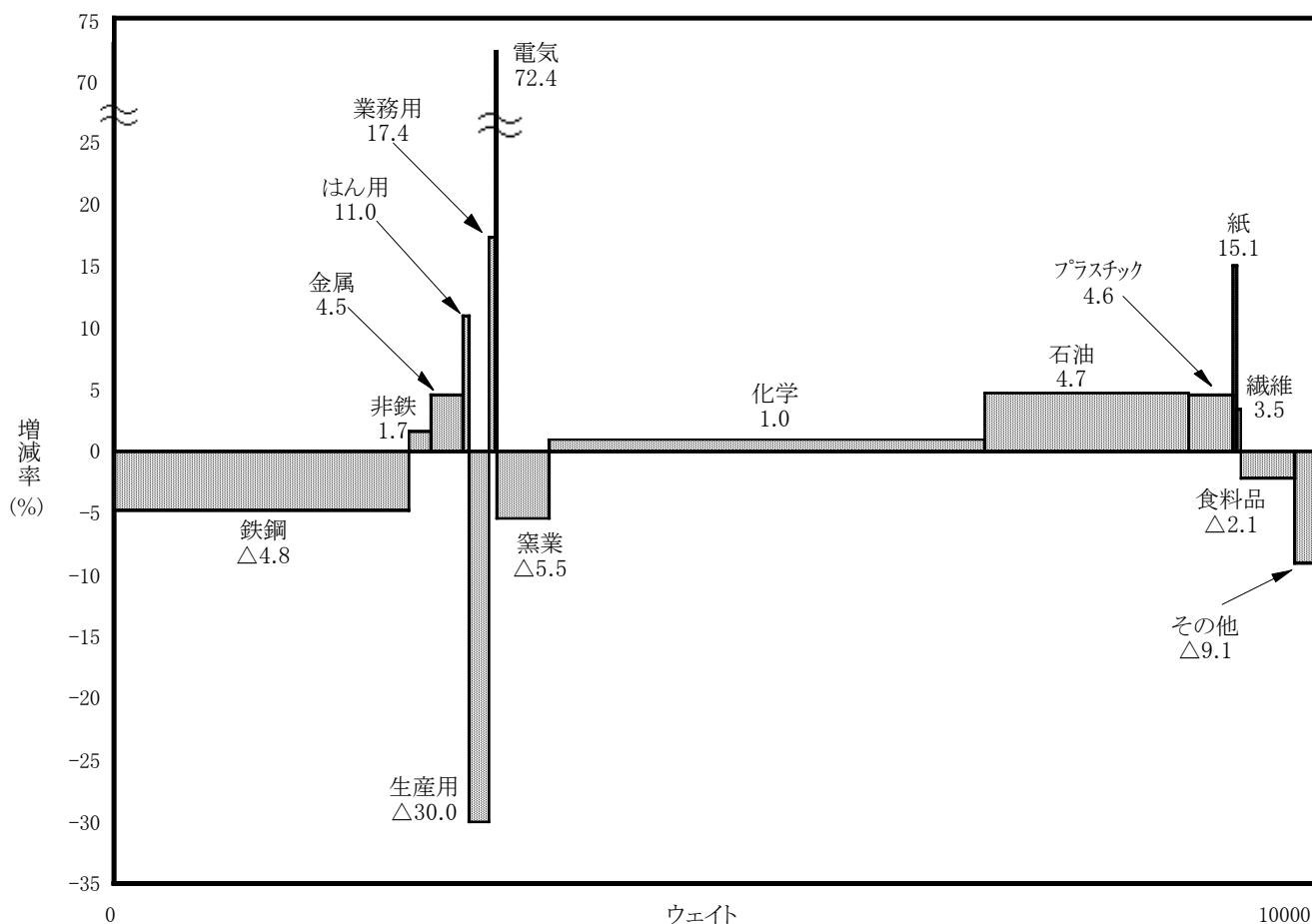
— 10業種が上昇, 5業種が低下 —


平成24年の在庫指数は103.6で前年比△0.5%と3年ぶりの低下となりました。

業種別にみると、電気・情報通信機械工業（前年比72.4%）、業務用機械工業（同17.4%）、紙・紙加工品工業（同15.1%）等10業種が上昇し、生産用機械工業（同△30.0%）、その他工業（同△9.1%）、窯業・土石製品工業（同△5.5%）等5業種が低下しました。

（第5図参照）

第5図 業種別在庫指数の前年比増減率



1. 横軸は業種別ウェイトの構成比，縦軸は各業種の在庫指数の前年比増減率を表している。
2. グラフ中の数値は，各業種の前年比増減率である。
3. グラフ中の面積（部分）は，各業種の大小が指数全体の増減率に与える影響を表している。
4. グラフ中の業種名は，次のとおり略している。

[鉄鋼]…鉄鋼業 [非鉄]…非鉄金属工業 [金属]…金属製品工業 [はん用]…はん用機械工業
 [生産用]…生産用機械工業 [業務用]…業務用機械工業 [電気]…電気・情報通信機械工業
 [窯業]…窯業・土石製品工業 [化学]…化学工業 [石油]…石油・石炭製品工業
 [プラスチック]…プラスチック製品工業 [紙]…紙・紙加工品工業 [繊維]…繊維工業
 [食料品]…食料品工業 [その他]…その他工業

利 用 上 の 注 意

1 基 準 時

平成22年(2010年)を基準年としています。

指数値は、平成22年=100.0とした数量指数で表示し、ウェイトは平成22年の産業構造によって算出しています。

2 用語の表示

「鉱工業生産指数」, 「鉱工業生産者出荷指数」, 「鉱工業生産者製品在庫指数」, 「鉱工業生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産指数」, 「出荷指数」, 「在庫指数」, 「在庫率指数」と略記しています。

また、「1~3月期」, 「4~6月期」, 「7~9月期」, 「10~12月期」をそれぞれ「Ⅰ期」, 「Ⅱ期」, 「Ⅲ期」, 「Ⅳ期」と略記しています。

3 指数値等の表示方法

(1) 指数値は、暦年別及び四半期別に算出し、表示しています。

(2) 暦年指数値及び前年比は、原指数によって算出し、表示しています。

(暦年指数値は、1~12月各月の平均指数値です。ただし、在庫指数は、年末の指数値です。)

(3) 四半期指数値及び前期比は、季節調整済指数によって算出し、表示しています。

(四半期指数値は、期内各月の平均指数値です。ただし、在庫指数は、期末の指数値です。)

(4) 各数値の掲載単位未満は、すべて四捨五入しています。